

学階請求論の提出について（概要）

学階請求論文は以下の要領で提出ください。論文は真宗学または仏教学に関する内容を原則とします。

1 提出資格

- ① 学師請求論文 真宗大谷派教師であって大学卒業と同等程度の学力を有する者、又は進業を許可された者
- ② 擬講請求論文 学師授与から2年以上を経た者
- ③ 嗣講請求論文 擬講である者

2 提出書類

- ① 学階銓衡願 1通（ダウンロードしてご使用ください。）
- ② 履歴書 1通（ダウンロードしてご使用ください。）
- ③ 最終学歴卒業証明書（学師請求論文提出者のみ）
- ④ 提出論文 **4部**（下記3「体裁」に記載の要件を整えること）

※学師請求論文提出者は、口述試問時に持参するものとして、さらに1部論文の控えをご用意ください。

3 体裁（**体裁が整っていない場合は不受理となるので厳守のこと**）

(1) 字数（出典や注は字数に含めない）

- ① 学師請求論文 20,000字以上50,000字以内。
- ② 擬講請求論文 50,000字以上100,000字以内とし、副論文の添付を妨げない。
- ③ 嗣講請求論文 字数は無制限とし、副論文の添付を妨げない。

(2) 用紙

「真宗大谷派論文用紙」を使用、もしくは同様の体裁で作成のこと。

「真宗大谷派論文用紙」はダウンロード可能です。

真宗大谷派論文用紙（縦書）A4・40字×20行・12ポイント・上部余白（出典等記入欄）

真宗大谷派論文用紙（横書）A4・40字×20行・12ポイント・下部余白（出典等記入欄）

手書き用原稿用紙（縦書のみ）A4・20字×10行・上部余白（出典等記入欄）

(3) 表記・製本・引用等について

①製本

片面印字とし、表紙をつけて和綴じ又は洋綴じで製本する（縦書論文は縦書表紙で右綴じ、横書論文は横書表紙で左綴じ）。表紙の様式は見本を参照、もしくは教育部まで問合せください。

② 表記・引用・注釈等について

- ・句読点などの禁則処理を行う。
- ・引用文献は凡例と共に必ず明記する。
- ・引用は鍵括弧（英文やサンスクリットのローマ字表記などはクォーテーションマーク）で括る、または行を改め、2字下げで記す（この際、前後に空白行を設けない）。その他の引用表記を用いる場合は凡例に示すこと。
- ・聖教の出典は『真宗聖教全書』、『定本親鸞聖人全集』、宗派発行の『頭浄土真実教行証文類（翻刻篇）』を基本とする。
- ・漢文の經典及び聖典は漢文のまま引用し、返り点などがある場合は省略せずに記入する。
- ・出典は原則、当該箇所の上余白（縦書きの場合は上部、横書きの場合は下部）に記す。ただし、余白に収まらない場合は巻末もしくは章末にまとめて表記も可とする。
- ・注釈は、当該箇所の上余白に脚注として記す、または後注として巻末もしくは章末にまとめて記す。
- ・論文用紙下部（手書き用紙の場合は左部記入欄）に頁番号を記入する。

4 学事冥加金

- ① 学師 50,000円
- ② 擬講 70,000円
- ③ 嗣講 100,000円

※納入された冥加金は銓衡結果に拘わらず返金いたしません。

5 提出先 真宗大谷派宗務所教育部に提出。提出方法は各年度の要項をご確認ください。

6 銓衡結果の通知 学階銓衡会の審査を経て、書面をもって通知します。

7 口述試問 学師請求論文提出者には口述試問を行います。

8 その他 学階を授与された方は3年以内に真宗大谷派教学大会にて研究発表をお願いします。

以上